

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 医療整備課
 担当名: 地域医療対策担当
 内線: 3643

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S43	災害医療体制強化推進事業			一般会計	衛生費	医薬費	医務費	災害医療体制整備費		
事業期間	平成18年度～	根拠法令	災害対策基本法、災害救助法、埼玉県地域防災計画、医療法			針路	01	災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール 11, 13	
						分野施策	0101	危機管理・防災体制の再構築	SDGsターゲット 11-5, 11-b, 13-1	
1 事業概要 災害の頻発・激甚化に対応するため、災害拠点病院や災害時連携病院、DMAT(災害派遣医療チーム)等の充実・強化が必要である。 そこで、災害拠点病院の「埼玉DMAT」及び災害時連携病院の「埼玉地域DMAT」を整備・強化するとともに、災害医療コーディネート体制の充実等を図ることにより、災害時の医療提供体制を確立する。 ア 災害医療体制整備事業 △539千円 補正予算の概要: 事務費の節減(△539千円)				5 事業説明 (1) 事業内容 大規模災害に備えるため、災害拠点病院に加え、災害時の患者受入れの拠点となる災害時連携病院、一般病院が重層的な災害に強い医療体制を構築することで、本県医療救護体制の更なる強化を推進する。 ア 災害医療体制整備事業 26,719千円→26,180千円 イ 地域の災害医療体制強化事業 9,578千円 ウ 埼玉DMAT養成事業 7,065千円 エ 災害時医療人材養成事業 5,360千円 オ 災害医療体制整備事業(庁費) 6,659千円 (2) 事業計画 ア 埼玉DMATの整備・強化 イ 埼玉地域DMATの整備・強化 ウ 広域災害救急医療情報システム(EMIS)の整備 エ コーディネート体制の整備・強化 (3) 事業効果 大規模災害発生時において必要な医療を提供できるよう、体制の整備を図る。 【活動指標(アウトプット)】 埼玉DMAT養成研修(0.5日間)1回開催、埼玉地域DMAT養成研修2回開催、技能維持研修1回開催、災害医療コーディネート研修1回開催 【成果指標(アウトカム)】 埼玉DMAT42人養成、埼玉地域DMAT50人養成、災害時連携病院5病院新規指定、災害医療コーディネートに必要な知識・技能を習得した医師等36人養成 (4) 補正予算の概要 事務費の節減による減額						
2 事業主体及び負担区分 【厚生労働省】 救急医療対策費補助金、災害医療体制整備費補助金(国10/10・県0)事業者0、(国1/2・県1/2)、(県10/10)										
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)衛生費(細目)医療行政費 (細節)特別医療対策費 (積算内容)医療施設等設備整備費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.7人=35,150千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金								
決定額	△539							△539	54,842	
現計額	55,381	16,537						38,844		

事業内訳書

事業名	災害医療体制強化推進事業		
単位事業名	災害医療体制整備事業	予算額	△ 539千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△539	—	
合計	△539	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△6	—	事務費の節減による減額
需用費	△533	—	事務費の節減による減額
合計	△539	—	